

1 国民年金などの公的年金の概要

- (1) 日本に住む20歳以上60歳未満の方は、外国人の方を含めて国民年金に加入し、保険料を納めることが法律で義務づけられています。
(2) 公的年金は社会全体で支えあう世代間扶養の仕組みで成り立っています。
(3) 公的年金には、老齢年金のほか、万が一の場合に支給される障害年金や遺族年金もあります。
(4) 国民年金では、受け取る年金額の一部を国が負担しています。
(5) 公的年金で納めた保険料は、全額、社会保険料控除の対象になります。

2 月々の保険料

令和6年4月分から令和7年3月分の国民年金の月々の保険料は16,980円です。
保険料は、銀行等の金融機関、郵便局、コンビニエンスストア等の窓口で現金による納付のほか、口座振替、クレジットカードやインターネットバンキング等で納付できます。

3 国民年金から支給される年金給付

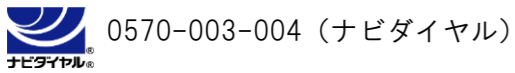
- (1) 老齢基礎年金
国民年金の保険料を10年以上納めたなどの条件を満たした方に、原則65歳から支給されます。
(2) 障害基礎年金
国民年金に加入中に初診日のある病気やケガにより、障害等級1級又は2級に該当する障害の状態にある場合は、障害基礎年金が支給されます。
(3) 遺族基礎年金
国民年金に加入中の方が亡くなった場合は、その方に生計を維持されていた遺族(子のある配偶者、又は子)に遺族基礎年金が支給されます。

詳しくは、住所地の市町村役場の国民年金担当窓口または年金事務所にお問い合わせください。

日本年金機構ホームページ https://www.nenkin.go.jp/international/index.html

日本年金機構 検索

年金の加入に関する一般的なお問い合わせは「ねんきん加入者ダイヤルへ」



050 で始まるお電話でおかけになる場合(東京) 03-6630-2525 (一般電話)

受付時間: 月~金曜日 午前8:30~午後7:00

第2土曜日 午前9:30~午後4:00

※祝日(第2土曜日を除く)、12月29日~1月3日はご利用いただけません。

日本に住む20歳以上60歳未満の方は、外国人の方を含めて、日本の公的年金制度である国民年金制度に加入し、保険料を納めることが法律により義務づけられています。(滞在期間に関わらず、日本国内に住所を有する方は日本の公的年金制度である国民年金制度に加入し、保険料を納めることが法律により義務づけられています。)

しかし、保険料を支払うことが経済的に困難な場合、保険料の支払いが「免除」または「猶予」される申請手続きをすることができます。前年所得などを審査して承認された場合は、保険料の支払いが「免除」または「猶予」されます。(この申請手続きは毎年必要です。)

この申請手続きを行うことで、あなたが将来年金を受け取る権利を確保するだけでなく、あなたが万が一、事故などにあい、障害を負ったときに障害基礎年金を受け取ることができる権利を確保することができます。

① 免除(全額免除・一部免除)申請

あなたやあなたの配偶者、世帯主それぞれの前年所得が一定額以下の場合や失業等の理由がある場合、申請により保険料の納付が全額免除または一部免除となります。(一部免除の場合、減額された保険料を納付しないと一部免除が無効となり、未納期間となりますので、必ず減額された保険料を納付してください。)

② 納付猶予申請

50歳未満の方(学生を除く)で、あなたやあなたの配偶者のそれぞれの前年所得が一定額以下の場合に、申請により保険料の納付が猶予されます。

【申請時の注意点】

● 申請する年度について

- ・免除等の1年度は7月~翌年6月までです。(7月から始まり翌年6月までの1年間です。)
・翌年度も引き続き免除等の申請を希望する場合は、改めて7月に申請手続きが必要です。

● 免除等が申請できる期間

- ・過去の年度分...申請書が受理された月から2年1カ月前(すでに保険料が納付済の月を除く)まで。
・今年度分...翌年6月(1月~6月に申請したときは、その年の6月)分まで。
ただし、1枚の申請書で申請できるのは、7月から次の年の6月までの12カ月間となりますので、必要に応じて複数枚の申請書を提出してください。
※過去の年度分は2年1カ月前まで申請できますが、申請が遅れると障害年金を受け取れないなどの不利益が生じる場合がありますので、すみやかに申請をしてください。

● 添付書類

失業・倒産・事業の廃止などを理由として申請するときは、証明書類(雇用保険受給資格者証または雇用保険被保険者離職票のコピーなど)を添付してください。その他、必要な添付書類は、住所地の市区役所・町村役場の国民年金担当窓口または年金事務所へお尋ねください。

● マイナンバーにより各種手続きを行う場合

申請者本人が窓口で申請書を提出する場合は、マイナンバーカード(個人番号カード)を提示してください。お持ちでない場合は、以下の①および②を提示してください。
なお、郵送で申請書を提出する場合は、マイナンバーカードの表・裏両面または①および②のコピーを添付してください。
① マイナンバーが確認できる書類: 個人番号の表示がある住民票の写し、通知カード(氏名、住所等が住民票の記載と一致する場合に限る)
② 身元(実存)確認書類: 運転免許証、パスポート、在留カードなど

【申請書の提出先等】

● この申請書の提出先は、住所地の市役所・町村役場の国民年金担当窓口、または年金事務所(郵送による提出も可能)です。

※詳しくは、住所地の市町村役場の国民年金担当窓口または年金事務所にお問い合わせください。

あなたが国民年金保険料の免除・納付猶予を申請する場合、申請書記入例が裏面にありますので、ご覧ください。

記入例

国民年金保険料免除・納付猶予申請書の記入例です。国民年金保険料の免除・猶予を申請する場合、あなたが記入する部分は赤字の部分です。日本語または英語（アルファベット表記）で記入してください。数字はアラビア数字で記入してください。なお、記入内容が不明の場合、日本語での記載をお願いする場合があります。

「提出年月日」、提出日時点の住民票の住所、あなたの氏名（パスポートに記載のアルファベット表記）を記入してください。

マイナンバー（個人番号）または基礎年金番号を記入してください（基礎年金番号で申請する場合は左詰めで記入してください）。

あなた、あなたの配偶者、世帯主（*）を記入してください（今年度分を申請する場合は現在の、過去の年度分を申請する場合は、その申請期間の末日の時点のあなた、あなたの配偶者、世帯主を記入してください）。
（*）世帯主：住民票に登録されている世帯の世帯主

あなた、あなたの配偶者、世帯主が申請年度の前年12月末時点で、16歳以上19歳未満の扶養親族がいる場合は「あり」、いない場合は「なし」に○をしてください。

「あり」に○をした場合は16歳以上19歳未満の扶養親族の人数を記入してください。

全額免除または納付猶予を翌年度以降も引き続き申請することをあなたが希望しない場合は、希望しませんに○をしてください。
また、今回納付猶予が承認された場合、次の年度で全額免除基準に該当する場合は、その年度以降は全額免除を希望しない場合は、希望しませんに○をしてください。
※詳しくは、市区町村役場、年金事務所にお問い合わせください。

あなたが免除・納付猶予申請をするという意思表示の欄です。また、あなたの配偶者と世帯主の記入に漏れないこと、この申請に必要なあなたや、あなたの配偶者、世帯主に関する情報（所得情報等）の確認を日本年金機構に委任することを承諾する欄です。

様式コード 4 6 3 5

国民年金保険料免除・納付猶予申請書

日本年金機構理事長 あて 令和2023年7月1日

指定全額免除申請事務取扱者 市区町村 日本年金機構

以下のとおり免除・納付猶予を申請します。また、配偶者および世帯主の記入に漏れないことを申し立てます。
この申請に必要な本人、配偶者および世帯主に関する情報（住所、市区町村）を記入してください。

あなたの住所 〒123-4567 TOKYOTO SUGINAMIKU TAKAIDONISHI 1-2-3

あなたの氏名 JOHN SMITH

被保険者氏名 JOHN SMITH

基礎年金番号で申請する場合は「個人番号（または基礎年金番号）」に電話番号

① 個人番号（または基礎年金番号）	X X X X X X X X X X	② 電話番号	1. 自宅 2. 携帯電話 3. 勤務先 4. その他	080-XXXX-XXXX
③ 被保険者氏名	(フリガナ) あなたの氏名 JOHN SMITH	④ 被保険者生年月日	あなたの生年月日	1990.8.10
⑤ 配偶者氏名	(フリガナ) あなたの配偶者の氏名 JANE SMITH	⑥ 配偶者生年月日	あなたの配偶者の生年月日	1990.10.1
⑦ 世帯主氏名	(フリガナ) 世帯主の氏名 JAMES SMITH	※ 世帯主氏名は被保険者または配偶者以外が世帯主である場合に記入してください。		
⑧ 特記事項	John Smith, U.S.A. 2023.11.1 John Smith, アメリカから転入 (配偶者が別世帯の場合) 配偶者の個人番号 (XXXX-XXXX-XXXX)			
⑨ 免除等区分	◆ ⑨ 免除等区分は基本的に記入不要です。記入がない場合は、以下の免除等区分について1～5の順に全て審査します。審査を希望しない免除等区分がある場合は、該当する数字を「×」で抹消してください。 ※ 「納付猶予」は、50歳未満の期間が対象となり、年金を受け取るために必要な期間に算入されます。「納付猶予」の審査順序を変更する場合は、その旨を「⑭備考」欄に記入してください。			
	1. 全額免除 (保険料全額を免除)	2. 納付猶予 (保険料納付を猶予)	3. 4分の3免除 (保険料1/4納付が必要)	4. 半額免除 (保険料1/2納付が必要)
⑩ 申請期間	平成 令和 2023 年度分			
⑪ 16歳以上19歳未満の扶養親族	被保険者：16歳以上19歳未満の扶養親族	あり ()	なし ()	
	配偶者：16歳以上19歳未満の扶養親族	あり ()	なし ()	
	世帯主：16歳以上19歳未満の扶養親族	あり (1)	なし ()	
⑫ 特例認定区分 (添付書類要確認)	被保険者 ① 失業 平成2023年4月1日 ⇒ 雇用保険加入 (あり) なし ② 天災等 ③ その他 () 配偶者 ① 失業 年 月 日 ⇒ 雇用保険加入 (あり) なし ② 天災等 ③ その他 () 世帯主 ① 失業 年 月 日 ⇒ 雇用保険加入 (あり) なし ② 天災等 ③ その他 ()			
⑬ 継続希望	1. 「全額免除」または「納付猶予」が承認された場合は、翌年度以降も同じ免除区分での免除申請を希望します。希望しない場合は、○で囲んでください。希望しません 2. 1を希望した上で、納付猶予が承認された次の年度において全額免除の審査基準に該当する場合は、その年度以降は全額免除を希望します。希望しない場合は、○で囲んでください。希望しません			
⑭ 備考				

※ 所得に関する情報について、関係法令に基づき、申告義務がある場合には、正しく申告する必要があります。

あなたの電話番号を記入してください。
生年月日を記入してください（西暦で記入してください）。

申請年度の1月1日時点で居住していた国が日本以外の場合は国名を記入してください。（例：あなたが現在は日本に居住、2023.1.1時点はアメリカ合衆国に居住していた場合は、あなたの氏名とアメリカ合衆国と記入してください）
あなたの配偶者があなたと国内で別世帯である場合、あなたの配偶者の個人番号を記入してください。
申請期間中に海外転出入があった場合は、国名と転出入日を記入してください。（例：あなたが2023.11.1にアメリカ合衆国から転入していた場合は、転入した日とあなたの氏名とアメリカ合衆国から転入と記入してください）

あなたが免除・納付猶予を希望する年度を記入してください。
免除・納付猶予での年度は、7月～翌年6月までです。
（例）令和5年度分（2023年度分）
⇒ 2023.7～2024.6
過去の年度分は、申請書が受理された月から2年1カ月前まで（すでに保険料が納付された月を除く）まで申請することができます。

あなた、あなたの配偶者、世帯主が会社を辞めたこと等を理由として申請するときは、会社を辞めた翌日を記入してください。働いていた時の雇用保険の加入について、あり・なしに○をつけてください。ありの場合は失業を証明する書類を添付してください。